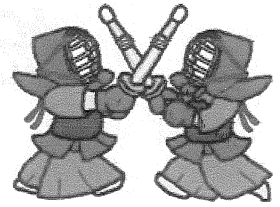


あまけんれん

平成26年10月発行

文責：泉 眞喜夫



輝く準優勝！ 熊本県民体育祭山鹿大会

9月21日（日）山鹿市大道小学校を会場に熊本県民体育祭剣道競技が行われました。昨年の県民体育祭は、天草郡市を会場に行われ、天草市チームは3位入賞を果たしました。今年も、1回戦を勝ち残れば、2回戦で昨年度優勝の熊本市との対戦が組まれていて、昨年以上の成績は難しいと予想していました。1回戦の相手は人吉市でした。先鋒鶴本選手が伸びのある思い切った面を決め、次鋒北野選手も小手を決めて連勝、続く高濱選手、迫内選手も押し気味に試合をすすめて引き分けに持ち込み、チームとしての勝利が決まり、大将檜木選手も見事な面を決めて、3対0で1回戦を突破しました。いよいよ2回戦、昨年準決勝で敗れている熊本市チームと対戦しました。先鋒、次鋒共に善戦するも1本負け。今年も熊本市の厚い壁に跳ね返されるのかとの思いが頭をよぎりましたが、中堅高濱選手は自分のペースで積極的に攻め、見事な面を決めて1本勝ちを収めました。続く副将迫内選手は粘りに粘って引き分けに持ち込み、大将戦に望みをつなぎました。大将檜木選手は、熊本市の大将上田選手に臆することなく、正々堂々と勝負を挑み、接近戦での打ち合いから面を決め、更に見事な飛び込み面を決めて2本勝ちし、本数勝ちで熊本市に逆転勝ちしました。優勝候補の熊本市を下して天草市の



準優勝に輝いた天草市チーム



来年度の奮起が期待される上天草市チーム

勝利が決まった瞬間、会場には大きなどよめきが起きました。天草市の応援部隊は感激の渦に包まれました。続く準決勝の相手は、下益城郡でした。先鋒、次鋒は優位に試合を進めながらも引き分けましたが、続く3選手はいずれも2本勝ちし、3対0で決勝戦へ進出し、この勢いでいけば優勝も夢ではないと誰もが思いました。決勝戦の相手は、過去、優勝経験もある菊池郡市でした。先鋒、次鋒は、力から見て勝てる相手でしたが、相手の粘りに決定打が出ず引き分けました。中堅戦では、相手の巧みな試合運びに敗れましたが、副将戦で迫内選手が見事な小手と面の2本勝ちを収め、大将戦に持ち込みました。大将戦では、熊本市戦の大将戦の再来を期待しましたが、相手は歴戦の強者内田選手。檜木選手は精一杯頑張りましたが、得意技である面にいったところに胴を決められ、無念の1本負け。あと一歩というところで優勝を逃してしまいましたが、熊本市を破っての準優勝は天草剣道連盟の歴史に残る快挙であったと思います。選手のみなさん、応援のみなさん、お疲れ様でした。

また、上天草市チームは、1回戦で下益城郡チームと対戦し、中田選手が2本勝ちしてひとり気を吐きましたが、残念ながら1対4での敗戦でした。上天草チームの大将山下誠悟選手は、大将資格の6段に若手がなかなか上がってこずに、長い間大将としての出場を余儀なくされていましたが、8月の福岡での昇段審査で田中大心君が6段に合格されましたので、来年度は、監督としての出場となります。長い間お疲れ様でした。上天草市チームは、田中6段を大将として、若い選手が奮起して稽古に励み、来年度は県体での勝利を目指してほしいと思います。

次年度の県体選手については、今年度の選手が核となりますが、新たに、稽古に励み、試合実績等を顕著に残す人材が現れて、その中に割り入ってくることを期待したいと思います。